

第9回日本データベース学会通常総会議事録

文責 増永良文

日時：2010年6月30日（水）午後1時15分～1時55分

場所：青山学院大学 総研ビル 11階第19会議室

出席者：157名(委任状140名，現地出席正会員17名)。なお，定足数は142。

議題：

1. 2009年度事業報告および決算について
 2. 監査報告
 3. 定款改訂について
 4. 2010年度事業計画および予算について
 5. 2010年度役員改選について
 6. その他
-
1. 司会の山名早人正会員より第9回日本データベース学会通常総会の開会が宣言された。本総会は，日本データベース学会と一体運営を行っている ACM SIGMOD 日本支部の「2009年度 ACM SIGMOD 日本支部年次事務会議」を兼ねていることが述べられた。まず，定款第42条により通常総会の定足数は142であるが，すでに委任状140通をいただいていることが述べられ，加えて総会出席者に本会正会員あるいは維持会員である方の挙手を求めたところ17名の挙手が認められたので，157名の出席者となり，通常総会は問題なく成立することが宣言された。続いて，定款第41条により増永良文会長を本通常総会の議長に選出することが提案されて了承された。
 2. 会長から開会宣言の後，2009年度事業報告と2009年度決算報告が説明された。
 3. 続いて，会長から，監査報告について，石井義興監事から説明するよう要請があり，石井義興監事と西尾章治郎監事による2009年度監査報告について，石井監事より「2009年度収支決算書について厳正に監査いたしました結果，適正に処理され，妥当であることを報告いたします」と報告があった。
 4. 拍手をもって，2009年度事業報告，2009年度決算報告，および監査報告が承認された。
 5. 続いて，会長より，2009年5月に理事会の諮問機関として設置した「DBSJ 機構改革検討委員会」の2009年度の検討結果を踏まえ理事会承認された本会定款の「第2章 目的及び事業（目的）第4条」の改訂が上梓された。
 6. 拍手をもって，定款改訂が承認された。
 7. 続いて，会長より2010年度事業計画と2010年度収支予算が説明された。2010年度の事業は基本的に2009年度を踏襲して行う。
 8. 拍手をもって，2010年度事業計画と2010年度収支予算が承認された。
 9. 会長より，定款15条により役員は総会において正会員の中から選任することになっていることの説明があり，2010年度の役員候補を提示されている方々をお願いしたいこ

と提案があり、拍手を持って承認された（選出された役員一覧は下記のとおり）。

10. 司会の山名氏より、以上をもって第 9 回日本データベース学会通常総会をつつがなく終了すると閉会が告げられた。

2010 年度日本データベース学会役員一覧

役職名	氏名	勤務機関
会長	増永良文	青山学院大学
副会長（学界）	田中克己	京都大学
副会長（産業界）	國井秀子	リコーソフトウェア
監事（学界）	西尾章治郎	大阪大学
監事（産業界）	石井義興	ビーエスピー
理事（DBS 研）	山名早人	早稲田大学
理事（DE 研）	石川佳治	名古屋大学
理事	赤間浩樹	日本電信電話
理事	江口和俊	東芝
理事	北川博之	筑波大学
理事	喜連川 優	東京大学
理事	清木 康	慶応義塾大学
理事	白石雅己	日本電気
理事	鈴木俊宏	日本オラクル
理事	関根裕	富士通
理事	土田正士	日立製作所
理事	松澤裕史	日本アイ・ビー・エム

理事	横田一正	岡山県立大学
理事	横田治夫	東京工業大学
理事	吉川正俊	京都大学

(五十音順)

会長 1 名, 副会長 2 名, 監事 2 名, 理事 15 名

2010 年度 ACM SIGMOD 日本支部役員一覧

役職名	氏名	勤務機関
支部長	横田治夫	東工大
副支部長	小口正人	お茶の水女子大
プログラム委員長	宮崎純	奈良先端大
会計担当幹事	波多野賢治	同志社大
庶務幹事	小林隆志	名古屋大
庶務幹事補佐	渡辺陽介	東工大

† 定款の「第 2 章 目的及び事業 (目的) 第 4 条」を次のように改訂した.

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 4 条 本会は、データベース、メディアコンテンツ、情報マネージメント、ソーシャルコンピューティングに関する人材の育成と科学・技術の振興をはかり、(社)情報処理学会データベースシステム研究会、(社)電子情報通信学会データ工学研究専門委員会、ACM SIGMOD 日本支部と連携しつつ、フットワーク軽く、産学連携、国際的ビジビリティの向上、新学術領域の開拓においてイニシアティブをとり積極的に国内外にメッセージを発信し、学術、文化、産業、ならびに社会の発展に寄与することを目的とする.

以上